

区分	No	団体名 代表者（事務局長） 連絡先	設立年 会員数	設立の目的 主な活動内容
国際協力	61	(公財) オイスカ岐阜県支部 小川 信也 (杉山 慎一) 〒503-8603 大垣市久徳町100番地 太平洋工業㈱本社内 杉山 慎一 TEL 0584-47-9420 FAX 0584-47-9419	1969 (団体) 85 (個人) 35	<ul style="list-style-type: none"> ・「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界を目指す」ことを目的に、具体的に活動する機関としてアジア太平洋地域での農業開発や環境保全活動を展開。 ・組織内連携強化活動 <p>オイスカ本部、支部、支部推進協議会と団体組織内の交流を深め、近隣支部との連携事業の推進、オイスカ子どもの森計画親善大使招聘による活動報告会及び岐阜県との連携による「ぎふ木遊館」、「モリノス」で研修会実施</p>
	62	岐阜JICA ボランティアの会 (岐阜県青年海外協力隊を 支援する会・JICAボラン ティア岐阜県0V会) 渡辺 和義 〒509-7321 中津川市阿木1773 TEL 0574-63-2013 FAX 0574-63-2013	1991 (個人) 25	<ul style="list-style-type: none"> ・JICAボランティアの参加促進・活動支援、帰国後の支援及びOB・OGの交流 ・ウクライナ人道危機救援金へ寄付
	63	JICA 岐阜県デスク 本迫 武 〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階 (公財)岐阜県国際交流 センター内 本迫 武 TEL 058-263-8069 FAX 058-263-8067 E-mail jicadpd-desk- gifuken@jica.go.jp	2002	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんにとって「世界」と「ジブン」が身近になるように、JICA各事業の広報活動やJICAボランティア事業への参加促進、開発教育・国際理解教育支援、SDGs参加促進活動等を行っている。 <ol style="list-style-type: none"> 1 国際協力出前講座 JICAボランティア経験者やJICA職員を講座講師として教育機関や自治体等に紹介し、出前講座を行うプログラム。講座を通じて、世界の現状や途上国の暮らし、自分とのつながり等を学んでいただく。(2023年度実績：17件) 2 国際理解教育講座 岐阜県総合教育センターとJICAの共催で、教員を対象にワークショップや講義を通じて開発教育・国際理解教育・多文化共生を学ぶ講座を8月に開講。(2023年度参加者実績：51名) 3 JICA海外協力隊募集及び国際協力への相談対応 JICA海外協力隊に興味のある方や途上国やJICAボランティア経験者の話を聴きたい方、国際協力でキャリアを積みたい方など、国際協力についての幅広い個別相談対応を適宜実施。 4 JICA活動写真/パネル展 JICA事業への理解・参加促進を目的とし、JICA各事業の説明や写真、パネル等の展示をメディアコスモス、イオンモール等で開催。(2023年度実績：4カ所) また、市町村図書館での国際協力に関する書籍の展示会を実施。(2023年度実績：4カ所) 2024年度は岐阜県内大学図書館でも実施予定。
	64	特定非営利活動法人 アイキャン岐阜出張所 鈴木 真帆 (福田 浩之) 〒503-2406 揖斐郡池田町宮地930 土川商店内 吉田 文 TEL 080-8168-6426	2023	<ul style="list-style-type: none"> ・アイキャンは、一人ひとりの「できること(ICAN)」を持ち寄ってよりよい社会をつくらうと、たった一人の会社員から始まった国際協力NGOです。 <ul style="list-style-type: none"> ●ビジョン (目指す社会) 誰もがもてる力を発揮し、未来を切り拓くことができる社会 ●ミッション (果たすべき役割) 1. 多様な背景を持つ人々の声に耳を傾け、誰もが自らの可能性と社会が抱える課題に気づく機会をつくります 2. その気づきを育て共有することで、課題解決に取り組む力を伸ばします 3. その力を持ち寄りつなぐことで、望む未来をともに目指します ●行動指針 人々の「ために」ではなく、人々と「ともに」。 Not “for” the People, but “with” the People. <ol style="list-style-type: none"> 1 【国内】できることに気づく事業 教育機関等の要請に基づき、国際理解教育の講義や海外研修の実施を通して地球規模の問題を伝えるとともに、NGO 活動への理解を促進し、一人ひとりが社会をより良くするために「できること」の気づきを促す活動を実施。 2 【国内】できることを持ち寄る事業 何か自分のできること (MY ICAN) を行動に移したいと思っている市民に対して、寄付物品の収集や、フェアトレード商品の販売、ボランティアなどの活躍する場を提供。

区分	No	団体名 代表者（事務局長） 連絡先	設立年 会員数	設立の目的 主な活動内容
国際協力	64	特定非営利活動法人 アイキャン岐阜出張所		<p>3 【フィリピン】 路上の子どもの保護、教育および能力強化</p> <p>(1) 路上の子どもへの教育活動：日常生活の問題に向き合い、仲間とともに解決に取り組むための力を育む「ライフスキル研修」を実施。</p> <p>(2) 元路上の若者たちで構成される協同組合への能力強化：パンや菓子の製造販売事業の運営・経営・広報のトレーニング等を実施。</p> <p>(3) 路上の子どもの保護活動：児童養護施設「子どもの家」の組織強化。</p> <p>4 【フィリピン】 ごみ処分場周辺地域における栄養改善活動</p> <p>(1) 給食活動：マニラの最貧困地区であるトンド地区において、給食活動や各家庭の食行動改善の啓発を担う住民組織を結成し、給食を提供。</p> <p>(2) 栄養改善のための啓発活動：日々の食事の改善が子どもの栄養状態の改善に繋がることを啓発。</p> <p>5 【国内】 多文化共生事業</p> <p>日本で暮らすフィリピン人の「声」を聞き、団体として何ができるかを模索。団体や個人にヒアリング。交流イベントの実施など。</p>